

授業科目名	ブータン学	単位数	1
担当教員名	糸永 正之	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。			
授業の到達目標及びテーマ (1) ブータンの過去と現在を検証する。 (2) (1)により、私たちが行くべき未来の道を探るための三角測量を試みる。			
<p>授業の概要</p> <p>かつてブータンに滞在して国王の家庭教師をつとめたこともある、英国オックスフォード大学のマイケル・アリス博士(1946-1999)によれば、大ヒマラヤ山脈東部の南側斜面に位置する現在のブータン地方に、人が定住し始めた時期は、紀元前2000年頃までに遡るといふ。</p> <p>ちなみに、ノーベル平和賞を受賞したミャンマーのアウンサウンスーチー女史(1945)の伴侶は、アリス博士であった。</p> <p>そんなブータンは、優に4000年を超える歳月をかけて人が丹念に耕した、ヒマラヤ咲いた可憐な花のようでもある。甘い芳香を放つ美しい花に、蜜蜂が集まるように、今ではブータンに興味の眼差しを向ける人たちも増えた。</p> <p>とはいえ、世界から吹き付ける時代の風は、ヒマラヤの花も容赦しない。もともとブータンにおける化石燃料の自給率はゼロ%だが、1971年に国連に加盟してから今日までの間に、食糧の自給率は60%近くにまで低下し、自殺や凶悪犯罪の発生件数も増加傾向にある。形あるものに光が当たれば、その反対側には影が出る。光を当てて影の出ないものは幻である。</p> <p>GNHを唱えるブータンの過去と現在を検証しながら、私たちが行くべき未来への道を探るための三角測量を試みたい。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：ブータンの歴史①古代史</p> <p>第2回：ブータンの歴史②ブータンとイギリス</p> <p>第3回：ブータンの歴史②ブータンとチベット</p> <p>第4回：ブータンの歴史③ブータン王国誕生</p> <p>第5回：ブータンの歴史④近代国家への道</p> <p>第6回：ブータンの文化・慣習</p> <p>第7回：ブータンの生活・風俗</p> <p>第8回：ブータンの政治・経済</p> <p>第9回：ブータンと日本の関わり</p> <p>第10回：ブータンと日本人－東郷茂徳（ブータンと日本の架け橋）</p> <p>第11回：ブータンと日本人－中尾佐助（ヒマラヤと照葉樹林文化～宮崎アニメの原点）</p> <p>第12回：ブータンと日本人－東郷文彦（東郷茂徳、中尾佐助の後継者）</p>			

第13回：ブータンと日本人－西岡京治（農業指導・開発）

第14回：GNHとは～メディアリテラシー

第15回：まとめ

定期試験

スクーリングでの学修内容

全てスクーリングで行う科目なので、第1回～第15回を全てスクーリングで行い、GNHを唱えるブータンの過去と現在を検証しながら、本当の意味での「幸福」とは何かを解説する。

テキスト

中尾 佐助（2020 改版）『栽培植物と農耕の起源』岩波書店

参考書・参考資料等

- ・ 上山春平[編]「照葉樹林文化－日本文化の深層」中公新書
- ・ 上山春平/佐々木高明/中尾佐助[著]「続・照葉樹林文化－東アジア文化の源流」中公新書
- ・ 松田権六[著]「うるしの話」岩波文庫
- ・ 廣野卓[著]「食の万葉集」中公新書
- ・ 川本皓嗣[著]「日本詩歌－その骨組みと素肌」岩波書店

学生に対する評価

スクーリング（50%）、科目習得試験（50%）の割合で総合的に評価する。